

近畿の花きの概要



令和7年2月

農林水産省
近畿農政局

＜花きの定義＞

○「花きの振興に関する法律」の第2条において、「花き」とは、観賞の用に供される植物をいうと定義されている。具体的には、切り花、鉢もの、花木類、球根類、花壇用苗もの、芝類、地被植物類をいう。

花 き

【切り花類】

輪ぎく、スプレイぎく、小ぎく、カーネーション、ばら、りんどう、洋ラン類、スターチス、ガーベラ、トルコギキョウ、ゆり、アルストロメリア、切り葉、切り枝

【球根類】

チューリップ、
ユリ等

【鉢ものの類】

シクラメン、洋ラン類
観葉植物、盆栽等

【地被植物類】

ササ、蔓類等地面や壁面の被覆
に供するもの

【芝類】

造園用等養成さ
れているもの

【花壇用苗ものの類】

パンジー
ペチュニア等

【花木類】

ツツジ等庭木に使われる木本性
植物で緑化木を含む（鉢ものを除く）

【山野草、林木】

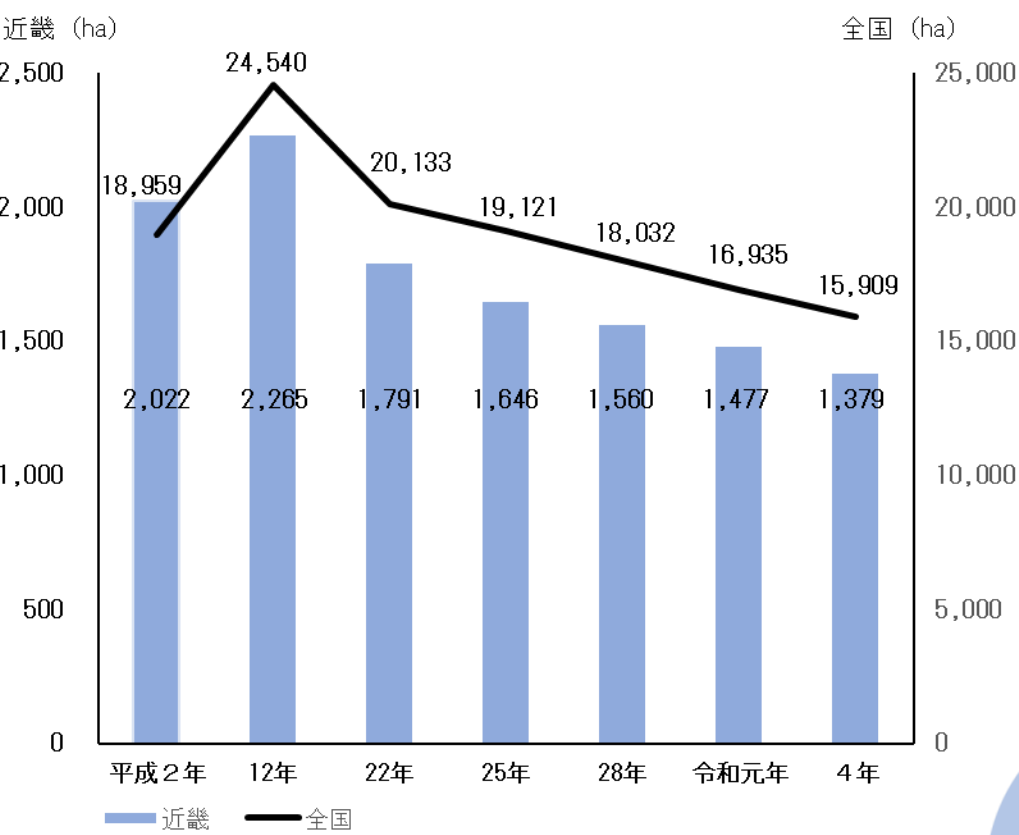
観賞用に仕立てをして栽培されているものは花きとして取り扱う

(1)生産動向

○近年、花きの作付面積は、減少傾向で推移している。近畿管内の作付面積（令和4年）は、1,379haで全国の8.7%となっている。

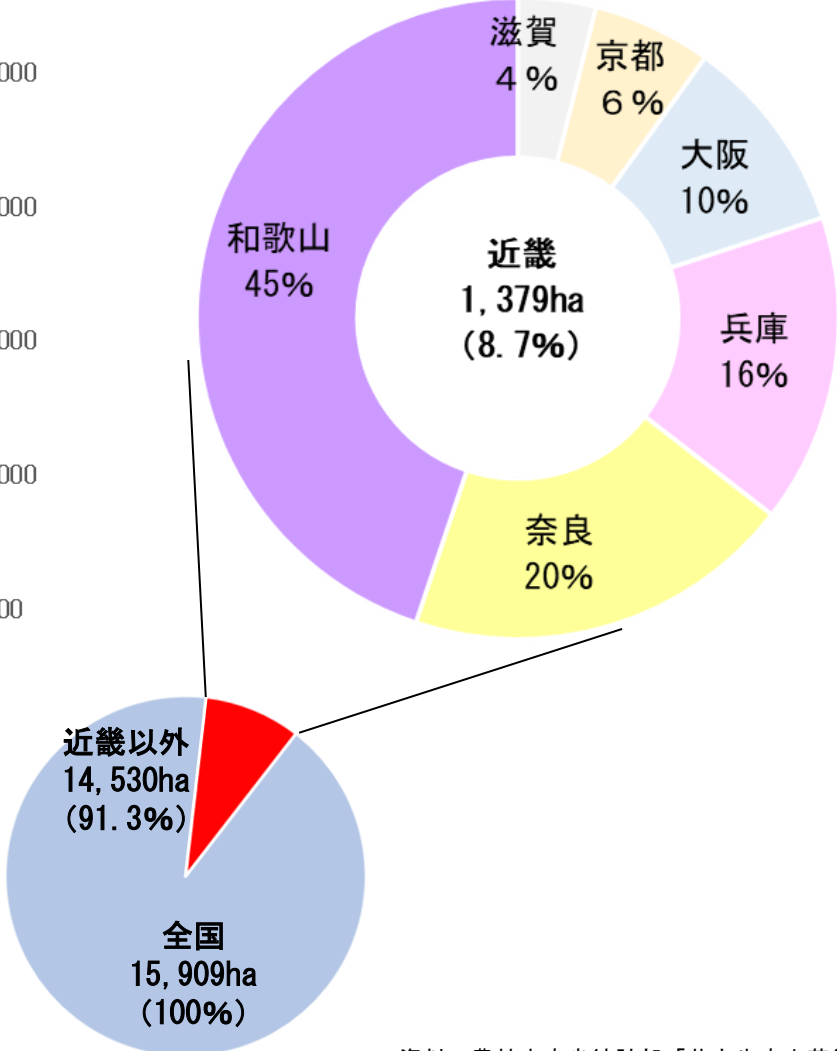
○近畿管内の県別作付面積シェアは、和歌山県が最も多く（45%）、次いで奈良県（20%）、兵庫県（16%）、大阪府（10%）となっている。

図1 花き作付面積の推移



資料：農林水産省統計部「花き生産出荷統計」

図2 近畿管内の作付面積割合（令和4年産）



「花き生産出荷統計」は、切り花、鉢もの、球根類、花壇用苗ものについての調査で、全国調査は平成7年から3年に1回となっている。

資料：農林水産省統計部「花き生産出荷統計」

○近畿管内の花きの作付面積（令和４年）に占める品目別内訳は、切り花が87.5%、鉢ものの類が2.6%、花壇用苗8.9%、球根類が1.0%となっている。

○切り花類では、きく、スターチス、切り枝の割合が高い。

表１ 花きの種類別作付面積（令和４年産）
（単位：ha、%）

府県名	切り花類	鉢ものの類	花壇用 苗ものの類	球根類	計
滋賀県	49	3	1	－	54
京都府	63	8	12	×	83
大阪府	119	3	16	－	138
兵庫県	155	7	48	5	214
奈良県	220	8	35	8	271
和歌山県	601	6	11	－	618
近畿	1,207	36	123	14	1,379
各品目/近畿計	87.5	2.6	8.9	1.0	
（参考）全国計	12,970	1,452	1,253	234	15,909

資料：農林水産省統計部「花き生産出荷統計」

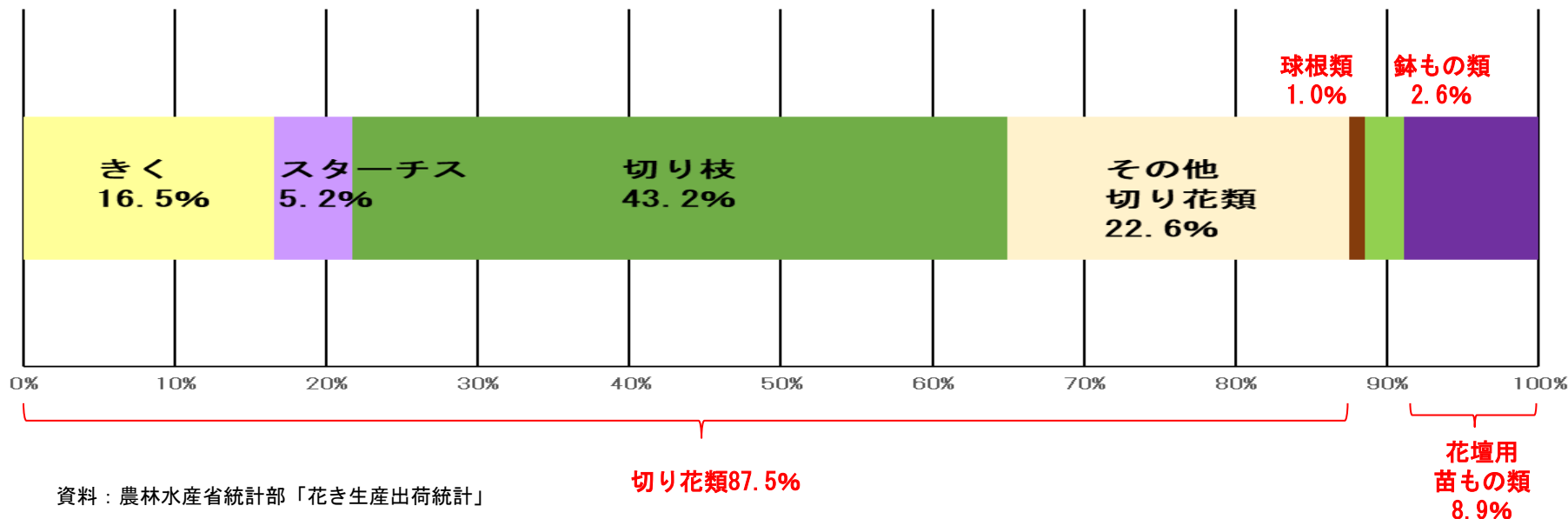
注１）「－」：事実のないもの

「×」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの

注２）表示単位未満の四捨五入により合計値と内訳の計が一致しない 場合がある。

注３）作付面積における鉢ものの類、球根・他は収穫面積である。

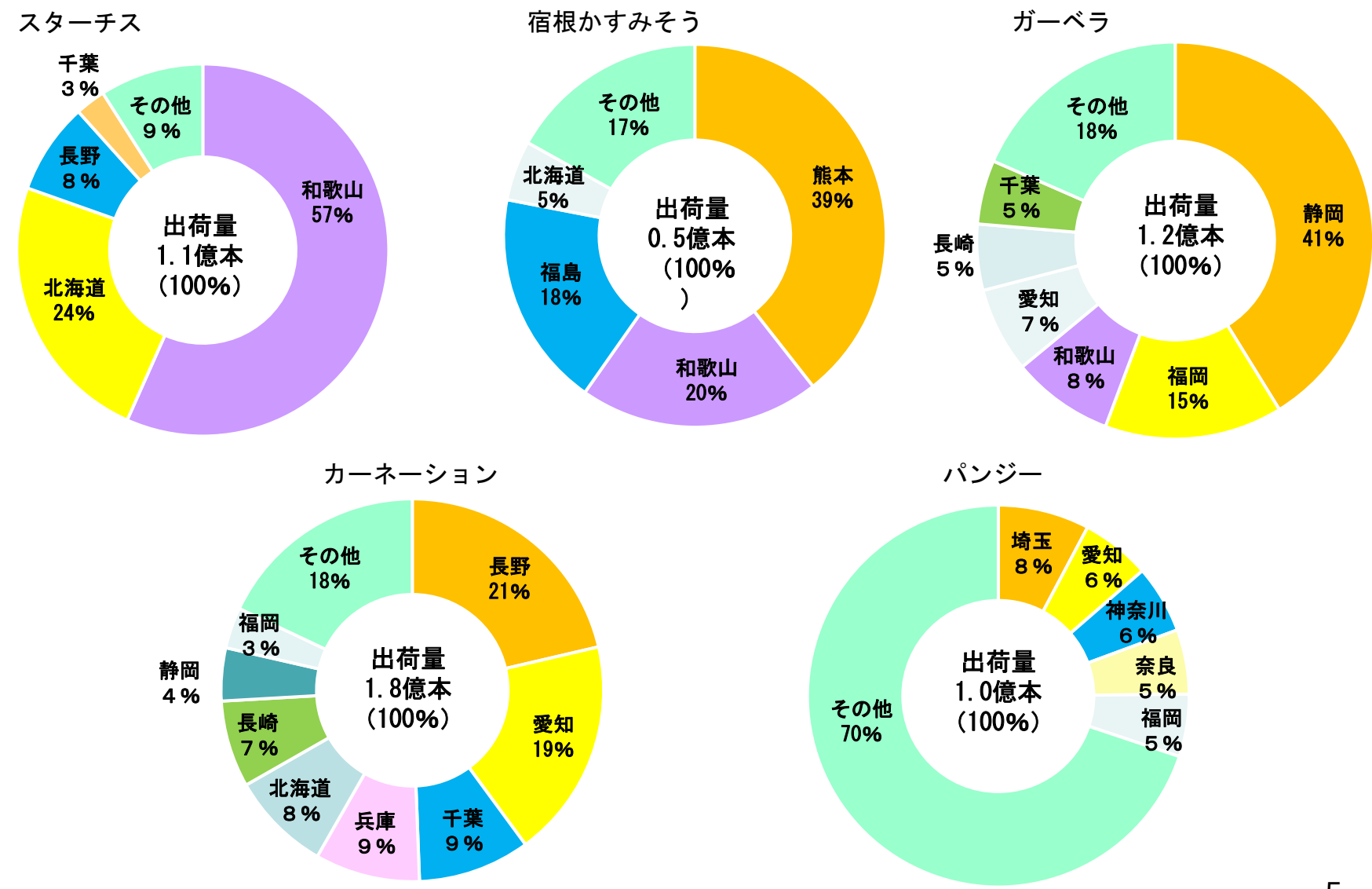
図３ 近畿管内の品目別作付面積割合（令和４年産）



資料：農林水産省統計部「花き生産出荷統計」

○ 令和5年産の品目別出荷量では、和歌山県のスターチスが全国1位、宿根かすみそうは2位、ガーベラが3位、兵庫県のカーネーションが4位、奈良県のパンジーが4位。

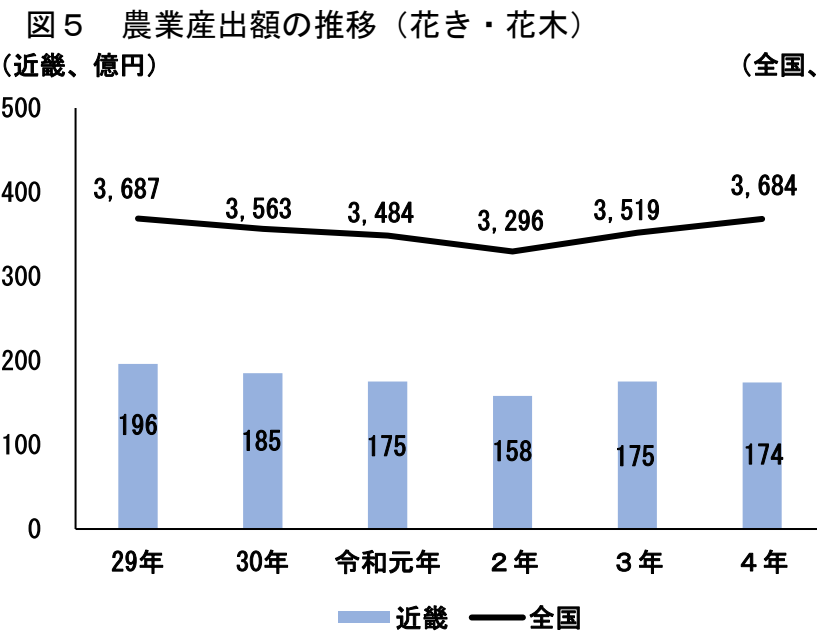
図4 品目別出荷量割合（令和5年産）



資料：農林水産省統計部「花き生産出荷統計」

注）表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

○花きの産出額(令和4年)は、174億円で全国の約5%を占めている。

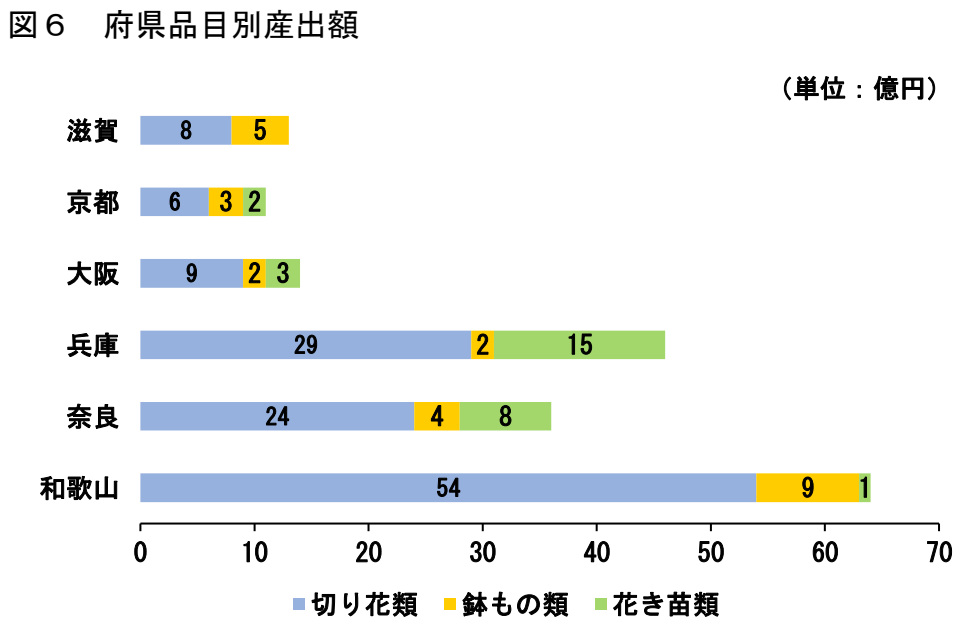


資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」、「花木等生産状況調査」

表2 令和4年府県別農業産出額(上位50品目以内)

滋賀県		京都府		大阪府		兵庫県		奈良県		和歌山県	
産出額	602	産出額	699	産出額	307	産出額	1,583	産出額	390	産出額	1,108
花き	13	花き	11	花き	14	花き	36	花き	36	花き	64
ばら	5	切り枝	2	庭園樹苗木	3	カーネーション(切り花)	8	きく(切り花)	12	スターチス	23
洋ラン(鉢)	4	洋ラン(鉢)	1	洋ラン類(鉢)	2	きく(切り花)	3	切り枝	5	カスミソウ	7
きく(切り花)	2			きく(切り花)	1	庭園樹苗木	3	庭園樹苗木	3	切り枝	5
洋ラン(切り花)	1			パンジー	1	パンジー	2	洋ラン類(鉢)	3	きく(切り花)	4
				切り枝	1			パンジー	2	ガーベラ	4
				ゆり(切り花)	1			街路樹苗木	2	庭園樹苗木	3
				観葉植物	0			ばら	2	ばら	3
								シククラメン	1	街路樹苗木	2
										トルコギキョウ	2

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」、「花木等生産状況調査」
注) 花きの産出額は「生産農業所得統計」と「花木等生産状況調査」の結果をあわせたものである。



資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」、「花木等生産状況調査」

(2)流通動向

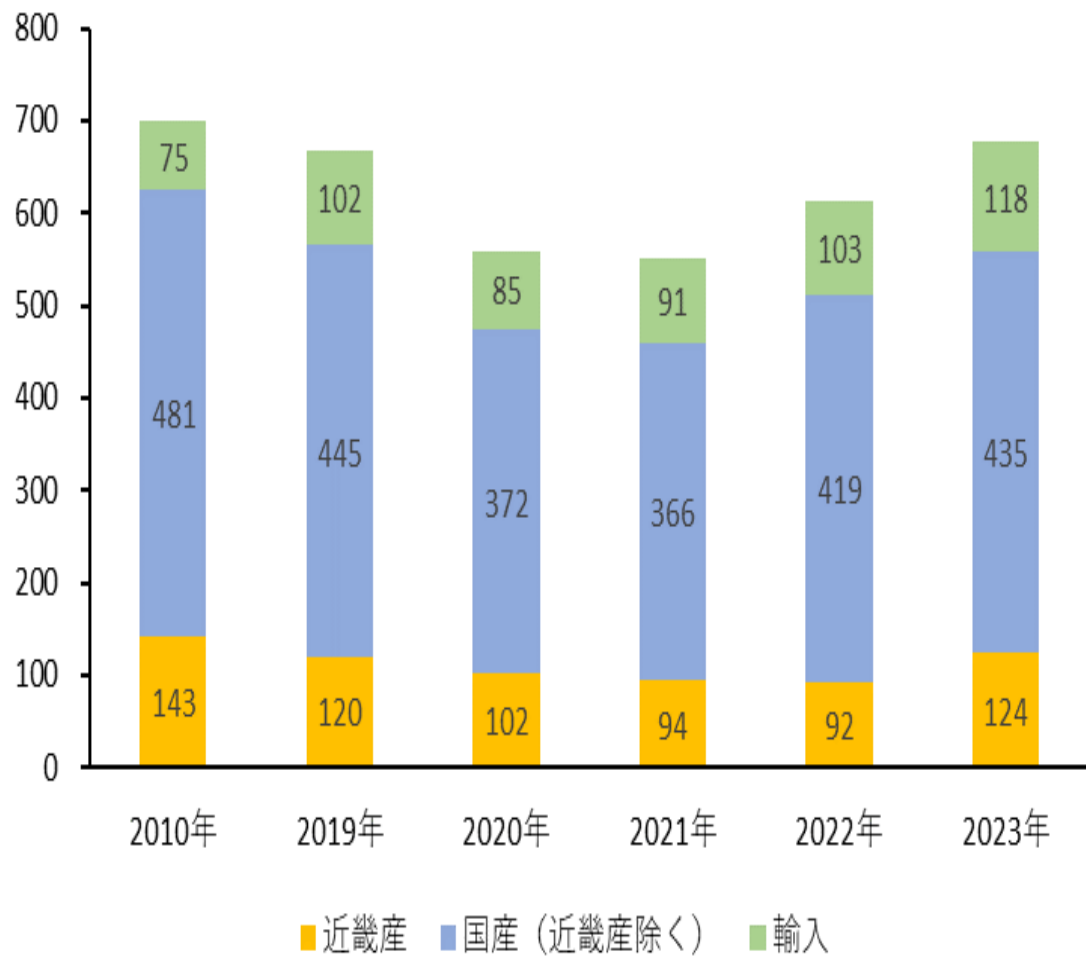
○(社)日本花き卸売市場協会に加入する全国114卸売市場の年間取扱高(2023年)は36,066億円、近畿管内の卸売業者の年間取扱高は749億円(11業者)で全国の20.7%を占めている。

表3 主な花き市場の年間取扱高(2023年)

単位：億円

順位	府県名	卸売業者名	実数
1	東京	(株)大田花き	322
2	東京	(株)フラワーオークションジャパン	240
3	大阪	(株)なにわ花いちば	196
4	愛知	豊明花き(株)	145
5	兵庫	(株)姫路生花卸売市場	134
6	大阪	(株)JF鶴見花き	101
7	大阪	(株)JF兵庫県生花 大阪本部	96
8	愛知	(株)名港フラワーブリッジ	92
9	東京	(株)世田谷花き	89
10	福岡	福岡県花卉農業協同組合(福岡)	89
11	京都	京都生花(株)	80
14	大阪	西日本花き(株)	75
31	兵庫	(株)JF兵庫県生花	31
49	京都	(株)大原総合花き市場	17
54	奈良	奈良県花き植木農業協同組合	15
	大阪	(名)天王寺生花市場	4
	和歌山	(株)ツジモト	1

図4 近畿の主要花き卸売市場における取扱金額の推移(2023年)



資料：(社)日本花き卸売市場協会「2023年花き市場流通調査」
注：取扱高には花木類、資材等を含む。

資料：一般社団法人日本花き卸売市場協会関西支所取扱高調査
注：四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(3)需要動向

○全国の花きの需要は長期的にみて減少傾向となっていたが、近畿管内の一世帯当たり年間購入額は、切り花は下げ止まり傾向であり、2023年は前年よりわずかに増加したもの、2024年は前年より減少した。
園芸品・同用品は近年減少傾向となっている。

表 4 「切花」の一世帯当たり年間購入金額

		1990年	2000年	2010年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全国(円)		10,788	11,551	9,733	8,401	8,152	7,899	7,922	8,034	7,684
近畿(円)		12,067	12,644	10,979	8,250	7,946	7,837	8,260	9,080	8,151
指数	全国	100.0	107.1	90.2	77.9	75.6	73.2	73.4	74.5	71.2
	近畿	100.0	104.8	91.0	68.4	65.8	64.9	68.5	75.2	67.5

資料：総務省「家計調査」

図8 「切花」の一世帯当たり年間購入額の推移(円)

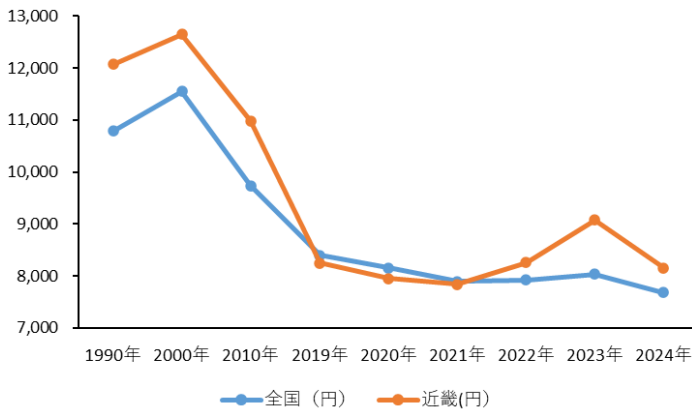
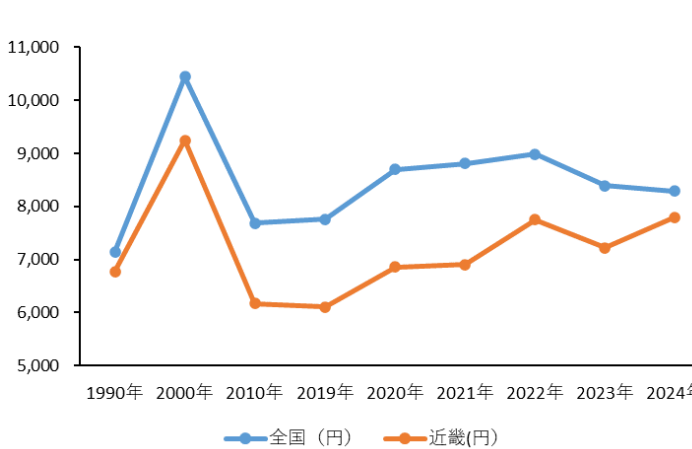


表 5 「園芸品・同用品」の一世帯当たり年間購入額

		1990年	2000年	2010年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
全国(円)		7,148	10,447	7,682	7,756	8,694	8,807	8,985	8,393	8,293
近畿(円)		6,770	9,245	6,171	6,102	6,857	6,899	7,750	7,219	7,798
指数	全国	100.0	146.2	107.5	108.5	121.6	123.2	125.7	117.4	116.0
	近畿	100.0	136.6	91.2	90.1	101.3	101.9	114.5	106.6	115.2

資料：総務省「家計調査」

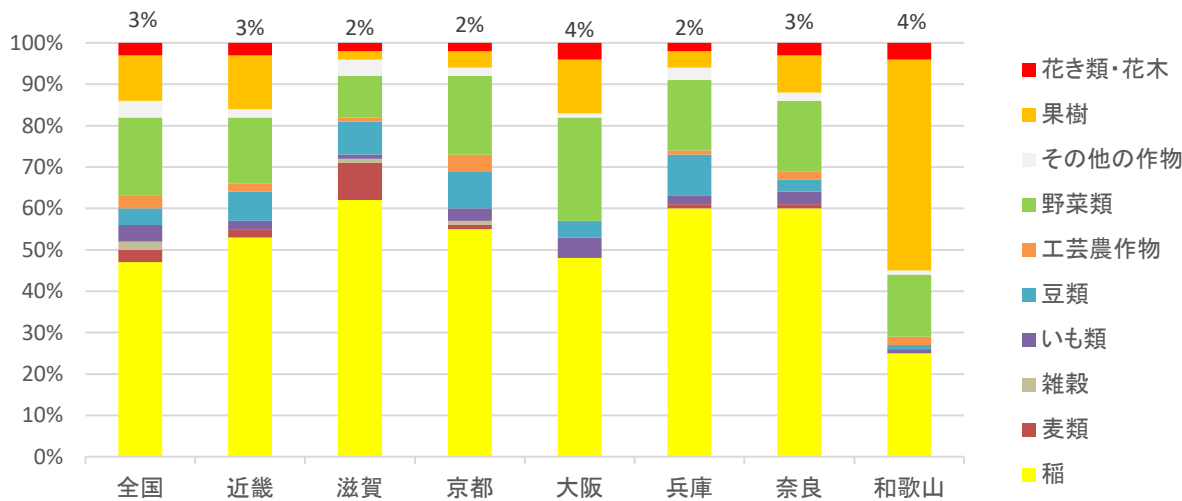
図 9 「園芸品・同用品」の一世帯当たり年間購入額の推移 (円)



(4)農家数

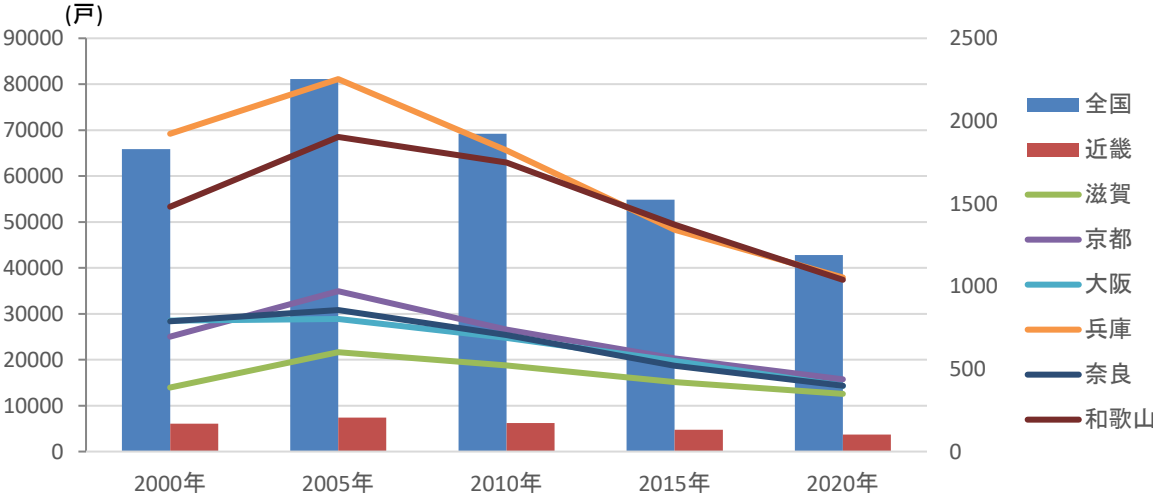
○花きの販売農家数は、全国、近畿ともに減少傾向。作物別では花き農家の割合は3 %となっている。

図10 販売目的の作物別販売農家構成割合(2020センサス)



資料:農林水産省「2020農林業センサス」

図11 販売目的の花き農家数



資料:農林水産省
「2000、2010世界農林業センサス」
「2005、2015、2020農林業センサス」

近畿地域の花き産地マップ

